



# 学校だより

令和7年9月3日（水）発行 第7号

【教育目標】 自ら学び、心豊かで、たくましい児童の育成  
～みんなが元気、みんなで前進～

【目指す児童像】

「自ら考え、自ら学ぶ子」  
「やさしく思いやりのある子」  
「たくましい子」

## ◆学力調査結果◆

4月に実施した、4・6年生の石川県基礎学力調査及び6年生の全国学力・学習状況調査の結果が分かりましたので、お知らせいたします。

### 1. 学力に関する本校の主な結果（県との比較）

#### 【特に良かった内容】

- 6年国語：複数の資料を読み取りその内容を選択したり、条件に合わせた書き方で正しく書いたりすること
- 6年算数：平行四辺形の作図の方法や、2つの量の関係が何倍にあたるかを求めること
- 6年社会：情報の扱い方を考えたり、日常生活につながる内容について答えたりすること
- 6年理科：水の状態変化に対する知識、実際に実験をした内容に関係すること
- 6年英語：会話文の聞き取り理解すること、聞き取ったアルファベットの小文字を書くこと
- 4年国語：文章を読んで設問の正誤を判断すること、言葉の意味を正しく理解すること
- 4年算数：グラフを正しく書いたり、データを整理・分類したりすること

#### 【特に課題である内容】

- 6年国語：話し合いやインタビューの様子が書かれた文章から発言の意図をとらえたり、文章構成の工夫を考えたりすること
- 6年算数：問題の意味をとらえて式や答えに表し、その求め方や理由を説明すること
- 6年社会：日本の位置や領土について、地図帳を使って必要な情報を見つけ出すこと
- 6年理科：電流など目で見えない事象や、身に付けている知識を活用して考えること
- 6年英語：会話文から語句を聞き取って、その内容にあったものを選ぶこと
- 4年国語：長い文章を読み、複数の条件をふまえて文章を書くこと
- 4年算数：適切な単位を選択すること、分数の意味を理解して数直線で表すこと

### 3. 課題に対する今後の取組

- 6年国語：話し合い活動ではどんな力をつければよいか確かめながら学習を進めたり、書く活動では自分で書き方の工夫を考えたりできるように指導する。
- 6年算数：日常生活とのつながりを授業の中で触れたり、活用問題を取り入れたりする。
- 6年社会：調べてわかったこと（事実）を根拠に、自分の考えを書くようにする。機会をとらえて繰り返し地図帳を活用する。
- 6年理科：目に見えない現象をイメージ図で表すことで、それぞれの性質をつかみやすくしたり、知識の応用にいかしたりできるようにする。
- 6年英語：フラッシュカードやチャンツなど単語の定着を行う活動を取り入れたり、児童が対話

する場面を設定して発話量を増やしたりすることで、言語を習得させる。

4年国語：文章を読んで内容を理解するとともに、必要な語句を抜き出して文章をまとめられるように指導する。あわせて原稿用紙の使い方について定着を図る。

4年算数：つまずきやすい問題を繰り返し練習することや、算数用語を正しく使って説明するような問題に取り組ませる。

#### 4. 質問紙について（学習方法や生活等について）

【特に良かった項目】（県との比較）

6年：「理科の勉強が好き」「理科の勉強がわかる」

「音楽の授業が好き」「音楽の授業がわかる」

「計画を立てて学習する」

4年：「音楽・外国語の時間が好き」

「学校は好き」

【特に課題が見られた項目】（県との比較）

6年：「地域の図書館に週1回以上」

「コンピューターを使うことが好き」

4年：「生活で生かせないか考える」

「図書館をつかって」「地域の図書館に週1回以上」

【今後に向けて】

全ての学年で各ご家庭と協力して、子どもの努力の過程をほめて認めていくことで、一人ひとりの良さを認め、より楽しい学校づくりを継続します。ご家庭で、早寝（低学年 9:00 まで、中学年 9:30 まで、高学年 10:00 までに就寝）・早起き・朝ご飯といった規則正しい生活を送ることが、学校での確かな学びにつながります。また、家庭学習や動画やゲームの視聴についても、時間を決めて計画的にできるようにします。学校と家庭が連携していくことで、自ら学び、心豊かで、たくましい児童の育成を進めていきたいと考えています。

質問紙には、「あいさつ」の項目はありませんが、学校でも地域でも、家庭でも「出会う人に自分から挨拶ができる」児童を、これからも家庭・地域と連携して育てていきます。